

B 5  
765

←

師範學校編纂

# 地理初步

明治七年  
八月改正

文部省刊行



地球ノ中徑ハ東西、凡三千二百二十四里ニシテ、  
其周圍ハ、凡一萬零百三十五里ナリ、南北凡三千  
二百二十三里ニシテ、其周圍ハ、一萬零百三十里  
ナリ  
此地球表面ノ事ヲ、知リ得ル學ヲゼオガラヒー  
ト云フ、

ゼオガラヒ一リハ即地理學ト云フ義ニシテ、地  
球表面ノ事ヲ説キ明スナリ。

地理學ニ三種アリ。○「ナモーラル」ボリチカル、マ  
テマチカルト云フ。○「ナモーラル」ゼオガラヒ  
ハ、地形、山川、海島ナドノ、自然ニ由ルモノヲ、説キ  
明ス學ナリ。○「ボリチカル」ゼオガラヒ一ハ、都府、  
郡縣城市ナドノ、政治ヨリ、出ルモノヲ、説キ明ス  
學ナリ。○「マテマチカル」ゼオガラヒ一ハ、地球ノ  
運動方角、里數ナドノ、數學ニ關スルモノヲ、説キ  
明ス學ナリ。

## 第二

人民ノ住居スル所ハ、地球ノ外面ナリ。

地球ノ外面ハ、陸ト、水トニヨリテ、成レルナリ、然  
レドモ、水ト、陸トハ、其大サ、同ジカラズシテ、水ハ、

陸ニ競ブレバ、殆、三倍ノ大サアリ、

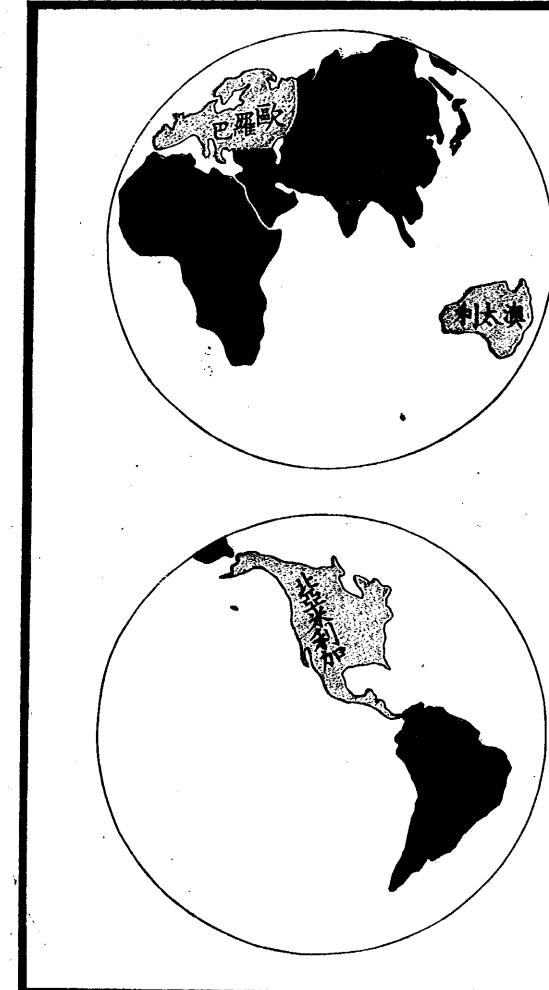
地球ノ外面ニアル、陸ト、水トヲ示ス、圖ヲ、地圖ト  
云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ、示ス者アリ、或ハ半面

ヲ、示スモノアリ、

地圖ヲ、東西ニ分チテ、東ノ半面ヲ、示シタルヲ、東  
半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ、示シタルヲ、西半球

東半球圖

西半球圖



第三

地球二、四個ノ方位アリ、コレヲ東西南北ト云フ  
今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ

ニ、



此小兒ハ、右ノ手ハ、朝日ノ方ヲ  
ヲ指シ、左ノ手ハ、夕日ノ方ヲ  
指セリ。是小兒ノ右ヲ、東ドシ。  
小兒ノ左ヲ、西トスルヲ知ル  
ベシ。然ラバ、小兒ノ背ハ、南ニ  
シテ、面ハ、北ニ向ヘリ。

此方位ヲ、地球ノ四方ト云ス。

#### 第四

東西南北ニ、又中間ノ方位アリ、東北、西北、東南、西南是ナリ。

地球ノ中、彩色ヲ施セル部分ヲ、陸トス、其白キ者ハ水ナリ。

爰ニ畫ケルハ、地球上ノ、三大陸ニシテ、其周邊ハ、大洋ナリ、大洋トハ、海ノ大ナル者ヲ云フ、三大陸ハ、東大陸、西大陸、及澳太利ニシテ、東大陸、又今チテ、三大洲トス、コレニ、西大陸、及澳太利ヲ、合セテ、

#### 五大洲ト稱ス、

五大洲ノ中、四大洲ハ、東半球ニアリ、亞細亞、歐羅巴、澳太利、亞弗利加ノ四洲即是ナリ。

西半球ニ在ル大陸ハ、北亞米利加、南亞米利加ナリ。

此五大洲ノ中、尤大ナルモノハ、亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ、澳太利ナリ。

此東西二球ヲ合セテ、全地球トス、

#### 第五

地圖ノ頂上、偏リタルヲ、北部ノ國ト云ヒ、右傍

二在ルヲ、東部ノ國ト云フ下方ハ、南部ノ國ニシテ、左傍ハ、稱シテ、西部ノ國ト云ヘリ

地球ノ表面ニ、縱横ノ線アリ、其南北ニ、引キタル線ヲ、經線ト云ヒ、東西ニ、引キタル線ヲ、緯線ト云フ、緯線中央ニ在ル者ヲ、赤道トス、  
緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ、等シク其間ヲ、畫スルヲ以テ、南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸小トナルナリ、○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ、一キ出ダシタル、圓ナルヲ以テ、其長サハ、同ジト雖、兩線ノ間、各差違アリ、

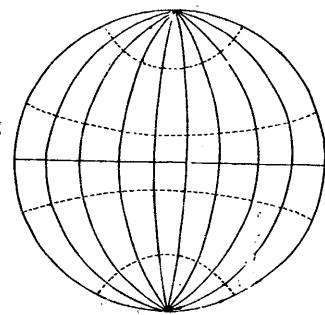
此經緯ノ線ハ、各三百六十アリテ、線ト、線トノ間ヲ、一度ト云フ、

此緯線ノ度ヲ數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ、南北ニ至ルナリ、假如ヘバ、赤道ヲ、零度ト定メテ、ソレヨリ北ヘ、二線ヲ隔ツレバ、南緯二度ト云ヒ、南ヘ三線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經線ニハ、其本ト、定ムベキ所ナシ、我國ニテハ、東京ヲ本トシ、コレヨリ、西經幾度、東經幾度ト、數フルナリ、

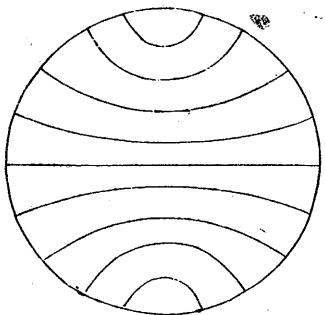
赤道ヨリ、南北共三二十三度半ニシテ、各一線ア

リ北ニアルヲ、夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ、冬至線ト云フ、此二線ノ間ハ、氣候極メテ熱シ、故ニ稱シテ、熱帶ノ地ト云フ。○南北ノ極ヨリ、二十三度半ニシテ、各一線アリ、北ニアルヲ、北極線ト云ヒ、南ニアルヲ、南極線ト云フ、此二線ト、南北極ノ間ハ、氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス。○極線ト、二至線トノ間ハ、其氣候寒暖中ラ得ルニ因リ、稱シテ、中帶ノ地ト云フナリ。

## 經線圖



## 緯線圖



## 第六

地球上ニ五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南冰洋、北冰洋ナリ。

北冰洋ハ西半球ト、東半球トノ、北部ニ在ルヲ云  
ス。○太平洋ハ東半球ノ東部ト、西半球ノ西部ト  
ニ在ルヲ云フ。○印度洋ハ東半球ノ中央ニアリ。  
○南冰洋ハ西半球ト、東半球トノ、南方ニアリ。○  
大西洋ハ西半球ノ東部ト、東半球ノ西部トニ、ア  
ルヲ云フナリ。○此五大洋、其在ル所ノ地方ヲ以  
テ言ヘバ、北冰洋ハ北亞米利加ノ北ト、歐羅巴及  
亞細亞トノ北ニアリ。大西洋ハ、亞細亞ノ東ト、南  
北亞米利加トノ西ニアリ。印度洋ハ、亞弗利加ノ  
東ニアリ。大西洋ハ、歐羅巴ト、亞弗利加トノ西ニ

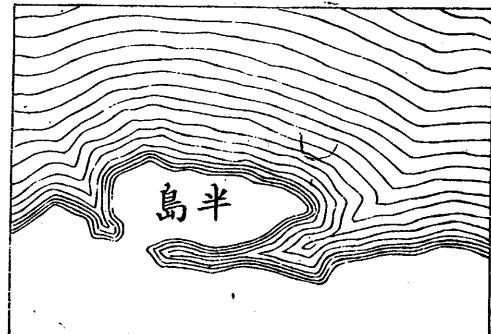
アリ。

## 第七

島圖



島半圖



也里乃步

七

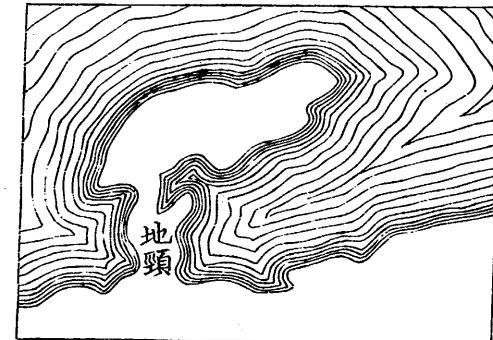
支那首

水四周ヲ、圍ミタル地ヲ、島ト云フ、其形ハ、三大陸ニ、同ジト雖、小ナルヲ以テ、名ヲ異ニセルナリ。

大陸ニ續キタルヲ、半島ト云フ、

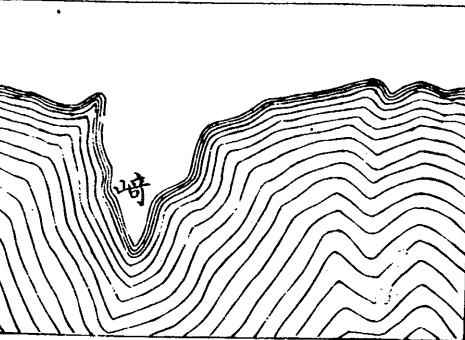
半島ト、大陸ト、續キタルノ、細クシテ、且長キ地ヲ、地頭ト云フ、

地頭圖



ル所ヲ、崎ト云フ、

崎圖



圖

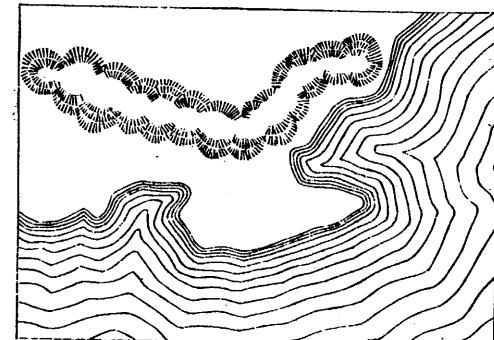


陸地上ニ土石高ク起レルモノヲ、山ト云フ。  
山ノ較小ニシテ低キ者ヲ、岡ト云フ。

## 山圖



## 嶺圖



兩山ノ間ヲ、谷ト云フ。  
山々相接シテ、長ク互レルヲ、嶺ト云フ。  
山巔或ハ山背ニ穴アリテ、常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ、火山ト云フ。  
火山ハ時アリテ、燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ。  
地ノ廣平ナル者ヲ、原ト云フ。

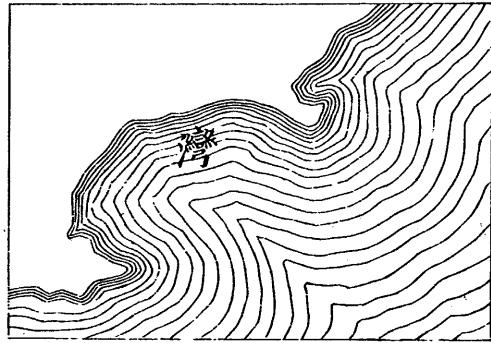
## 火山圖



# 港圖

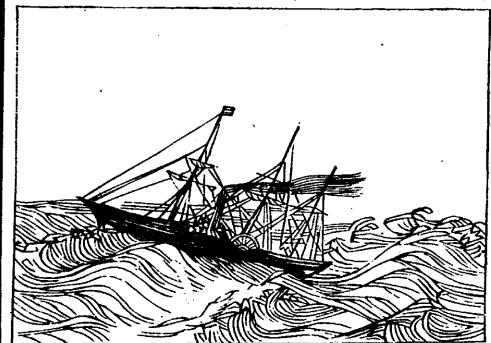


# 灣圖

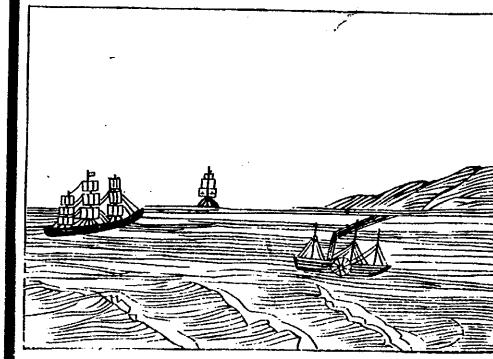


海トハ兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云フ、即大洋  
人分レタルナリ。

# 大洋圖



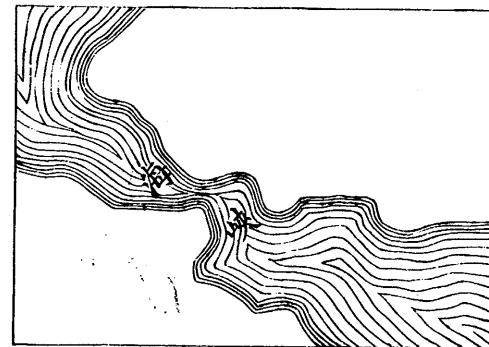
# 海圖



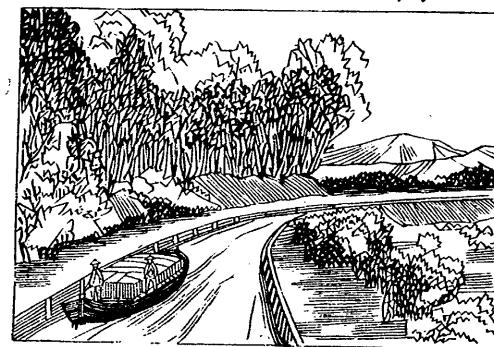
大洋トハ海ノ廣大ナルモノヲ云フ、  
至ル所皆沙ニシテ水草ナキテ沙漠ト云フ、  
第八

海ノ深ク陸地ニ入りテ船ノ泊スルニ、便ナル處  
ヲ、港ト云フ、

## 海 峡 圖



## 溝 圖



水ノ陸地ニ曲リ入レル處ヲ、灣ト云フ、  
陸地ノ間ニアリ、テ海水互ニ相通ズル、狹キ所ヲ、  
海峽ト云フ、

溝ハ人工ヲ以テ鑿チ

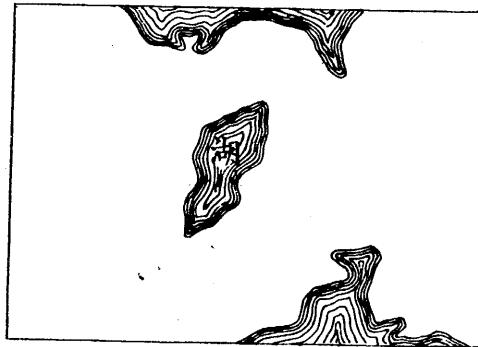
通シタル者ニシテ、物

ヲ運漕スルニ用井ル、

水流ナリ、

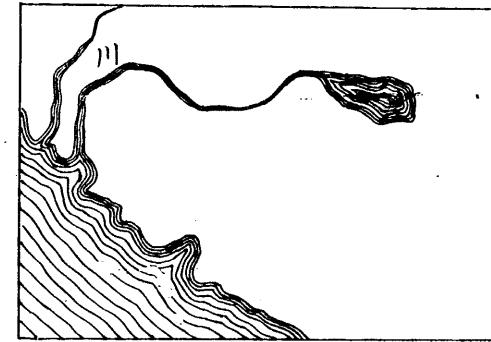
四面全ク陸地ヲ以テ、  
圍ミタル處ヲ、湖ト云  
フ、其中或ハ一方河海

## 湖 圖



二、通ズルモノアリ、  
川ハ陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云フ、

## 川



## 瀑



川水ハ始メテ流レ出ヅル所ヲ源ト云フ、  
其流小ナルモノヲ小川ト云フ、マタ深廣ニシテ、  
大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云フ、  
水ハ山上或ハ高キ所ヨリ急ニ低キ地ニ落チ下  
ダルモノヲ瀑ト云フ、

## 地理初步終

東江青木輔清著述  
海內無雙東京文證大全  
明治十五年一月出版

東園青木理中淨書  
曉齋河鍋洞郁圖畫

半紙形大本三冊

定價金壹圓七拾五錢 正價金壹圓四拾錢

此書公舊大雜書體微。先卷首之銅版木版精制彩色入三萬國全國日本全圖及三府分地圖并東京名所等圖。皇居諸官廳、位置町閭區長、名諸裁判所管轄府縣鎮臺山都邑、里程官等、諸表ヨリ動草、換圖改正國盡興地略解、皆日戸籍諸稅徵兵刑法謹誘律、類至元ニ收蒐。其本文二八日用端書文雜用文四季、贈答慰問文實信文、雅文紀事論說文其頭書、作文紀事論說文類筆序引只早引節用集文下卷公受取送狀願角諸證請狀文例其聲頭三諸印紙印形諸証、規則許答文例地所家作船車貨借賣買貨入書人引郵使電信賄金酒造賣藥、類至近凡日用、諸規則聲件卷類例同幸這明細記、紙質皆下冒校萬眾一般事載于漏スイシ故壬戌一本ヲ携帶ニテ最有益書也。

東京大傳馬町三二日 書肆 萬卷樓主人誌



文部省翻刻免許  
内務省翻刻御届  
刺成出版

明治十五年十月廿五日

同十一月廿五日

定價金五錢

出版人 増田爲吉

茨城縣平民

下總國豊田郡水海道驛

東京府平民

出版人 東生龜治郎

日本橋區通旅籠町二番地